

県都まえばし創生プランの体系

理念

子どもたちの元気な声が聞こえる ずっと住みたい生涯活躍のまち ～ 健康医療都市まえばし ～

基本目標

①若者（18-34歳、特に女性）の結婚・出産・子育ての希望をかなえる <主に自然減対策>
 2030年までに合計特殊出生率 1.82
 2040年までに合計特殊出生率 2.07

(当面5年間の目標) 合計特殊出生率
 現状値：1.42 → 2019年：1.52

②若者の定着と高齢者の活躍により、地域の活力を維持する <主に社会減対策>
 2040年：人口30万人、年少：生産年齢：老年の割合 = 14%：51%：35%
 2060年：人口26万5千人、年少：生産年齢：老年の割合 = 15%：52%：33%

(当面5年間の目標) 20-24歳の市外転出超過数
 現状値：△251人 → 2019年：△118人

優先課題

1 未婚率の上昇
 →未婚の原因解消

●解決に向けた方向性
 ① 出会いの機会の応援
 ② 安定的な雇用と収入の確保

2 夫婦間の出生数の減少
 →産み控えの原因解消

③ 不妊・不育支援
 ④ 2人目の壁打破

3 若者の総数の減少
 →若者の定着・選流と新たな流れの創出

⑤ こどもの育ちを支える教育
 ⑥ 市内高等教育機関の魅力向上
 ⑦ 市内大学生等の定着

4 要介護等認定者率の上昇
 →生涯活躍のまちづくり

⑧ ふるさと就職を促す
 魅力あるしごとづくり
 ⑨ 交流人口の増加
 ⑩ 移住・定住促進
 ⑪ 生涯活躍のまちづくり

⑫都市のコンパクト化と公共交通ネットワーク（コンパクトシティの推進）

×

●本市の強み（地域特性・他市との優位性）

○健康・医療 ○農業・食 ○立地・防災 ○教育・文化 ○自然・ICT

||

課題の解決

※4つのコンセプト：「①共有と発信」、「②選択と集中」、「③地域特性の活用」、「④官民連携」

